



春の農繁期を迎え、用水を利用した水管理が始まります。生産性は保ちつつも環境の負荷を減らした、以下の対策を意識し、「持続可能な農業」の取組みを実施しましょう。

STOP! 農業濁水

田植えまでの4ステップ

①均平作業

- ていねいな均平化で、後の浅水代かきや水管理をしやすくする
- 除草剤の効果もアップ



②漏水防止

- 畦周りの点検、補修
- 排水口には止水板を設置



③適量入水で浅水代かき

- 地域で計画的に水管理
- 水を入れすぎず、土が7~8割見える程度に
- 浮いたごみは除去



田植え直前に落水しない

④落水なしの移植

- やや深くても、回転マーカのラインは見えます



STOP! 農業系廃プラスチック

①プラごみ流出防止

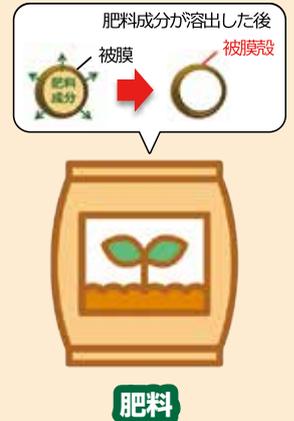
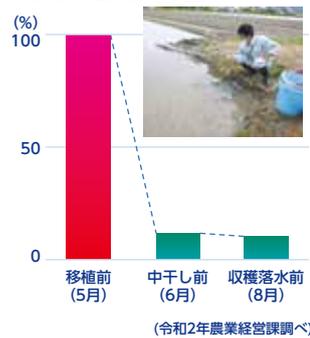
- 肥料袋、あぜ波板・シート等は風で飛ばないように
- 一般プラごみ(レジ袋、ペットボトル等)も併せて注意



②被膜殻の流出防止

- 緩効性肥料の被膜殻がほ場から流れないように
- 代かきや田植え前に強制落水しない水管理
- 本田を確認し、移植前を中心に網ですくう等、被膜殻の回収に努めましょう

ほ場の田面に浮遊する被膜殻の時期別の割合



春の農作業安全 月間が始まります!!

いよいよ4月からは農繁期に突入します。トラクターが広く使用され、機械事故が急増する傾向があります。十分に注意しましょう。また、倉庫内の工具類の整理整頓、農業機械の点検整備、農道の路肩や進入路など危険箇所の安全確認を行うなど、余裕をもってしっかり準備しましょう!

pick up 営農指導 活動

2/13 小麦“びわほなみ”栽培研修会の開催

この研修会では、5月頃までの栽培管理における注意点を共有しました。

「びわほなみ」は製粉適正に優れ、全面品種転換を推進している小麦の品種で、令和6年産は麦の品質評価ランクで初めてAランクに格付けされました。一方で、栽培管理による収量減や雑草対策に課題が残りました。今回は、令和6年産生産に表れた課題改善に向けたものになります。2月の栽培管理は重要な取組みのため、生産者との平準化を目指しました。



営農企画課
長浜統括営農担当
山崎 健太